

一般会計当初予算

277億4,300万円

特別会計 101億8,932万円 (対前年度比△1.5%)

国民健康保険や農業集落排水事業など事業目的を限定し、保険料や使用料など、特定の収入を特定の支出に充てるため、一般会計と区別した会計です。(電気事業は平成30年度で廃止)

会計名	予算額	対前年度比
国民健康保険	50億8,202万円	2.2%
後期高齢者医療	4億4,147万円	△1.4%
介護保険	46億573万円	0.3%
農業集落排水事業	1,311万円	△23.8%
宅地開発事業	832万円	107.7%
あづち大島いさりびの里事業	1,191万円	0.0%
電気事業	—	皆減
駐車場事業	440万円	同額
工業団地事業	2,234万円	△92.1%

企業会計 48億6,256万円 (対前年度比△6.2%)

地方公共団体の行う事業のうち、民間企業のようにその事業の収益で経費を賄って事業経営を行う会計です。

会計名	予算額	対前年度比
水道事業	17億8,297万円	△0.2%
病院事業	28億4,193万円	5.0%
交通船事業	2億3,766万円	△65.5%

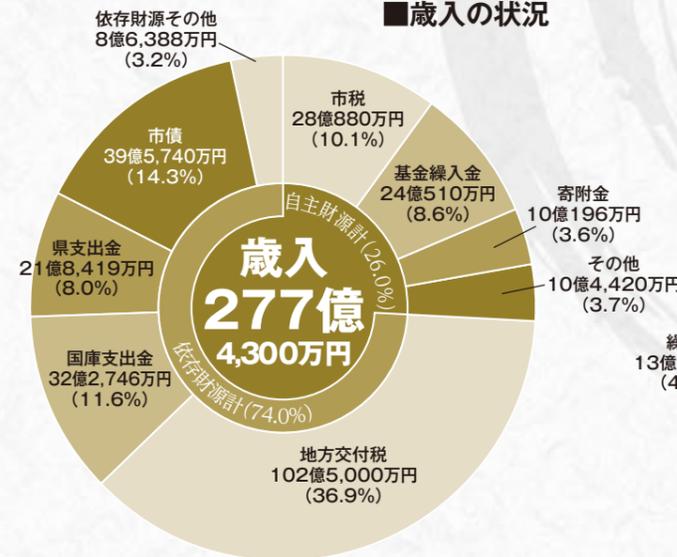
当初予算額の推移 (百万円)



今年度は投資的経費の集中や消費増税等の影響もあり、昨年度と比較すると歳入歳出総額13億7,200万円の増加となり、昨年度を超える財政調整基金の取り崩しが必要となる結果となりました。

今後は少子高齢化などに伴う社会保障費の増加や、ニーズの多様化による事業費の増大が予想される中、4年目を迎えた交付税の段階的縮減、これまで有利な財源として発行してきた合併特例事業債の発行可能額が残り僅かであることなどにより、一層厳しい財政状況となることが予想されます。これらを踏まえた危機感と改革意識を持ち、既成概念にとらわれない新たな経費削減を模索し、本市の将来像を見据えた長期的な展望の中で、市民が満足できるような施策を展開できる行財政の仕組みの構築に向けて取り組んでいきます。

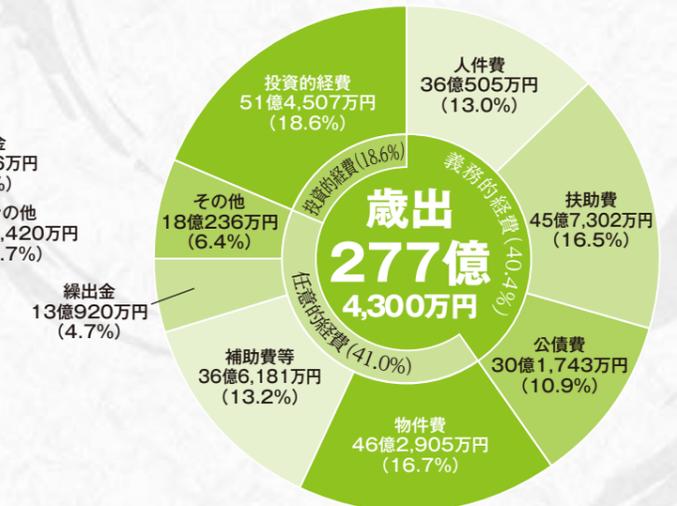
■歳入の状況



自主財源・・・自主的に調達できる財源 (72億6,006万円)

依存財源・・・国又は都道府県から交付される収入 (204億8,294万円)

■歳出の性質別分類の状況



義務的経費・・・支出することが制度的に義務づけられている経費 (111億9,550万円)

任意的経費・・・市が任意に支出できる経費 (114億243万円)

投資的経費・・・道路や施設など、支出の効果が将来に残るものに支出される経費 (51億4,507万円)

※各項目の金額は単位未満を四捨五入しているため、内訳の計と合計が一致しない場合があります。

市民1人当たりの予算額 88万1,878円

(対前年比5万7,887円の増) ※人口31,459人(平成31年3月1日現在)で計算

総務費 19万2,204円 (対前年度1万3,754円の増) 地域振興やふるさと納税の返礼品など	民生費 23万945円 (対前年度1万7,937円の増) 高齢者や児童の福祉など	衛生費 7万5,148円 (対前年度9,767円の減) ごみ・尿処理や病気予防など	農林水産業費 6万3,062円 (対前年度3,129円の増) 農林水産業の振興など	商工費 4万7,979円 (対前年度1万6,045円の増) 商工、観光の振興など
土木費 6万1,052円 (対前年度3,888円の増) 道路、住宅の整備など	消防費 3万1,024円 (対前年度2,274円の増) 消防、防災対策など	教育費 7万5,511円 (対前年度1万8,795円の増) 学校や図書館、文化振興など	公債費 9万5,916円 (対前年度2,587円の減) 借入金の返済	その他 9,037円 (対前年度5,581円の減) 議会運営、災害復旧など

重要政策分野への重点的な予算配分と健全な財政運営の確立

「第2次平戸市総合計画」に基づく予算配分

平成31年度当初予算は、「平戸市未来創造羅針盤(第2次総合計画)」を基に限られた財源の中で最大の効果が得られるよう、市全体のさらなる発展と市民福祉の向上、防災対策の強化に重点を置いた予算配分としています。

平成31年度の予算のポイント

歳入については、事業者の設備投資の増などにより市税(固定資産税)の増加を見込んだ一方で、全国的な競争激化の影響により「やらんば!平戸」応援寄附金(ふるさと納税)を減額と見込みました。依存財源においては、投資的経費の増加に伴い国庫

支出金や市債の増額を見込んでいます。この結果、自主財源比率は前年度と比較すると、6.4ポイント減少の見込みとなっています。歳出については、前年度に引き続き「やらんば!平戸」応援寄附金の減少に伴い積立金と物件費(寄附に対する返礼品)の減少を見込んでいます。投資的経費については、平戸城関連の改修や文化センターの大規模改修、生月地区の防災行政無線整備など大型建設事業の集中により前年度から大きく増加しています。また、これまで実施してきた市債の繰上償還の効果により公債費が減少。これに伴い義務的経費の割合は40.4%となり、前年度と比較すると1.9ポイント減少の見込みとなりました。

歳入については、事業者の設備投資の増などにより市税(固定資産税)の増加を見込んだ一方で、全国的な競争激化の影響により「やらんば!平戸」応援寄附金(ふるさと納税)を減額と見込みました。依存財源においては、投資的経費の増加に伴い国庫

その他の主要な新規事業



生月町中央公民館移転改修事業
… 2億5,176万円

施設の老朽化に伴う、生月支所2・3階への公民館機能移転工事。



首都圏飲食拠点プロモーション事業
… 1,800万円

首都圏に平戸産品を活用した飲食店の新規開設に係るプロモーション事業。



(仮称)度島ふれあい会館整備事業
… 1億377万円

度島ふれあい会館建設に係る事業。



生月地区デジタル同報系防災行政無線施設整備事業
… 9,096万円

生月地区同報系防災行政無線のデジタル化整備に係る事業。



特別支援学校分教室開設準備事業
… 7,117万円

2021年度予定の県立佐世保特別支援学校北松分教室開設に向けた田平中学校校舎の特別教室移転工事経費。



文化センター大規模改修事業
… 6億2,535万円

施設の老朽化に伴う平戸文化センターの改修事業。

ゼロ予算事業の紹介

ゼロ予算事業とは新たな予算措置を伴うことなく、職員一人一人の積極的な創意工夫や新しい発想のもと、市民サービスの充実を図る事業のことです。(下記の他、全23事業をゼロ予算で実施します)

移住者交流事業

平戸にある農水産物等を使った料理や、ものづくり体験を交流会で行うことによって、平戸ならではの楽しみ方や平戸の魅力を発信していく場として開催します。

延長窓口開設事業

平日開庁時間内に来庁出来ない人に、本庁市民課で予約による証明書交付などの対応を行い、市民の窓口利用の利便性向上を図ります。

租税教室事業

市内小中学校を訪問し、ビデオなどの素材を使って税の仕組みや使われ方などを分かりやすく説明します。

水産教室開催事業

市内の小中学生などを対象に、地元で獲れる魚やその調理方法などを学ぶ機会を設け、学習することで漁村文化の継承と魚食普及を目指します。

合同企業説明会開催事業

市内高校2年生向けに学校の体育館などを借用して、合同企業説明会を開催し、市内就職者数の増を目指します。

平戸学講座開催事業

文化交流課職員により、歴史や文化財に特化した講座を開催し、情報や学習の場を提供することにより、市民の学習意欲の向上、平戸に誇り・興味・関心を持つ人材の育成を目指します。

選挙投票体験事業

市内小中高校の生徒会等選挙時に、実際の選挙で使用する機材(投票箱、投票用紙記載台)を無償で貸し出し、選挙への意識啓発を図ります。

出前講座開催事業(消防)

職場、各団体、地域に対しAEDや消火器・消火栓ボックスの取り扱い訓練などを行い、初期消火の実施による火災被害の最小限化や、心肺蘇生法の実施による救命率の向上を図ります。

『夢あふれる 未来のまち 平戸』 へ向かって

ここでは、今年度実施する多くの事業の中から「シン・平戸創生プロジェクト」として取り組む主要な事業を紹介します。

伸 平戸 ~未来を担う人材創出プロジェクト~



未来を担う人材創出事業 …… 656万円

市内高校の魅力の向上などにより定員充足を図り、平戸市の未来を担う人材の確保・育成を目指します。

産地を支える人材確保推進事業 …… 107万円

産地の維持・拡大のため、生産部会などと連携して新規就農者を確保・育成します。

漁業後継者経営独立支援事業 …… 300万円

漁業後継者の確保、育成を図るため独立して漁業を営むものに対し、経営の安定や品質管理に取り組むための漁船用機器等の整備に対する支援を行います。

進 平戸 ~もうける農林水産プロジェクト~



農業産地力向上対策事業 …… 42万円

地域農業の課題解決に向け先進地視察などを行い、ヘルパー組合や集落営農の組織化を目指します。

平戸市水産物流改善対策事業 …… 331万円

水産物の流通販売方法に関する衛生管理や、旗艦魚種の創造などの取組強化を行います。

新水産業経営力強化事業 …… 2千万円

漁業所得向上を目指し、策定した経営改善計画の達成に向けた漁船用機器などの整備に関する支援を行います。

新 平戸 ~平戸市観光地力向上プロジェクト~



宿泊施設バリアフリー化支援事業 …… 800万円

宿泊施設が行うバリアフリー化に対する補助を行います。

平戸城大規模改修事業 …… 3億2,205万円

平戸の観光のシンボルである平戸城の大規模改修事業。(～2020年予定)

平戸城宿泊施設整備事業 …… 1億4千万円

平戸城懐柔櫓を宿泊施設としてリニューアルします。

世界遺産ライトアップ事業 …… 240万円

世界遺産の継続した普及啓発のため、構成遺産である春日集落の棚田をライトアップするイベント開催経費。